

中間支援活動助成事業 実績報告

団体名	認定特定非営利活動法人 市民活動センター神戸	代表者名	理事 中田 豊一
事業名	<基本事業> NPO 法人支援事業 <企画立案事業> 休眠預金制度に関する学習会・研修事業		

<事業実施実績>

年 月 日	活 動 内 容
2019 年 1 月 9 日	<p>「休眠預金がやってくる」開催</p> <p>NPO・行政・民間企業・その他の公益団体等に所属される皆さま 25 名にお集まりいただき、表記学習会・意見交換会を開催致しました。</p> <p>当会理事・事務局長の実吉威から本制度全体の設計や今後予定されている資金配分のスケジュールをご説明したのち、会場の皆様からの質疑応答と意見交換を行いました。</p> <p>会場からは制度に対する質問を多くいただいたほか、現場団体としてのこの資金への期待、同時に懸念や不安も挙がりました。</p> <p>中間支援(間接支援)的立場の団体からは、評価の手法その他の面で現場団体を支援する責任について語られたほか、この制度に関わることで制度をより良くしていく必要性なども語られました。</p> <p>今後は指定活用団体、資金分配団体の決定や助成スケジュールの公開などにあわせ、大規模な集会とは異なった形で適宜情報発信を行って参ります。</p> <p>また休眠預金に限らず、外部からの資金を受けて活動していく上での自己評価や成果の開示などについて、より効果的で各 NPO 身の丈に合った実践方法を、これからもみなさまと一緒に考えていきたいと思っています。</p>
1 月 30 日	<p>「NPO 新年会開催と事務用品配分」開催</p> <p>当会事務所会議室にて「NPO 新年会」と題し、NPO 等非営利団体の事務局スタッフによる交流会を開催致しました。地域も活動分野も様々な 21 名の皆様がお越しくださり充実の時間となりました。</p> <p>冒頭の自己紹介ではそれぞれが抱える日頃の活動でのお悩み共有と相互アドバイス、中盤は新年会らしく双六対決&NPO 運営に関する学習、そして終盤には株式会社大塚商会様・認定 NPO 法人イーパーツ様からご提供いただいた事務用品の配分を行いました。</p>

<p>2019年2月26日 27日</p>	<p>「市民活動の評価と休眠預金制度に関する意見交換会」開催</p> <p>26日は7名、27日は4名のみなさまにご参加をいただき、表記の意見交換会を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休眠預金を活用した助成金の対象は、どんな内容の活動になるの？どんなふう運用されるの？ ・助成を受けるためには「成果を検証すること」が必須になるそうだけれど、いったいどうやって自分たちの活動を評価すればいいの？ <p>などについて、相互参加者それぞれの活動紹介や日頃感じていることなどについて意見交換を行いました。</p> <p>当会からは、現時点で公開されている制度の概要、先日公表された「指定活用団体」がどのような団体なのかなどについて情報をご紹介いたしました。</p> <p>兵庫を基盤とする団体にとっても、休眠預金制度の「成果志向」などは今後大きな影響を及ぼすことが予想され、決して他人事ではありません。しかしどうしても規模が大きく、遠い仕組みに思えてしまう。この現状をどう捉え、どう動いていくか。当会では今後も県内のみなさまと意見交換を行いながら、積極的な政策提言を行ってまいります。</p>
---------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<効果と成果>

今年度は基本事業を通じた NPO 等の運営支援、企画立案事業を通じた休眠預金制度に対する政策提言を行った。どちらの事業にも共通した成果として、当会が単独で何らかの支援や情報提供を行うのみではなく、県内各地・また全国各地の先駆的な講師や経験者をつなぐことで、より鮮度が高く活動に有効な情報やリソースを提供することができた。

今年度の事業成果は相談対応記録や情報誌等へ編纂し蓄積することができたため、今後もこれらの内容や本事業を通じて得られた多角的なリソースを活用し、県内のNPO等への皆様への支援を深めたい。

<収支決算書>

[基本事業]

(収入)

項 目	金額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
参加費・受講料・相談料収入	10,500
自己資金	674,662
合 計	1,185,162

(支出)

区分	項 目	金額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経費	通信費	124,230	124,230
	印刷費	98,250	98,250
	消耗品費	44,496	44,496
	その他(人件費、新聞図書費等)	558,737	161,855
	小 計	825,713	428,831
間接経費(一般管理費)		359,449	71,169
合 計		1,185,162	500,000

[企画立案事業]

(収入)

項 目	金額 (円)
中間支援活動助成金	430,000
参加費収入	138,500
自己資金	458,088
合 計	1,026,588

(支出)

区分	項 目	金額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経費	謝金・旅費	232,923	60,000
	会場費	40,316	40,316
	旅費	136,370	0
	その他(人件費、研修費等)	313,998	272,412
	小 計	723,607	372,728
間接経費(一般管理費)		302,981	57,272
合 計		1,026,588	430,000